

## 令和5年度 2年「家庭基礎」シラバス

### 1 科目・単位・履修学年・区分

教科	科目	単位	履修学年	区分
家庭科	家庭基礎	2単位	2学年	必修（文型・理型）

### 2 使用教科書・副教材

教科書：「家庭基礎 自立・共生・創造」（東京書籍）

副教材：「家庭基礎学習ノート 自立・共生・創造」（東京書籍）

副教材：「資料+食品成分表 スーパーライブビュー」（東京書籍）

### 3 科目「家庭基礎」の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

### 4 授業形態・方法

通常の講義形式と、グループ単位での実験・実習、疑似体験、シミュレーション学習などを通して体験的に学習を深めます。また、ホームプロジェクトによる発展学習も行います。座学、実習内容によって教室の移動がある場合もあります。いずれの場合も教科書及び資料集を用います。

### 5 評価の観点（評価の観点及び評価方法）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価の観点	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・実習記録の考察</li> <li>・実習の実技（準備、工程、片付）</li> <li>・作品（被服実習）</li> <li>・実習レポート</li> <li>・課題</li> <li>・学習ノート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の論述問題</li> <li>・実習レポートやプリントの考察</li> <li>・発表の内容</li> <li>・学習ノート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、実習への参加の仕方や態度</li> <li>・実習レポート</li> <li>・課題</li> <li>・学習ノート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

6 年間計画 ①

学期	学習内容	指導目標・指導上の留意点 評価の観点	評価方法 【使用機器等】	知	思	態		
1	オリエンテーション 家庭科の学び方	1	・学習の意義や進度、評価の方法を理解させる	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・学習ノート	○	○	○	
	第1章 生涯を見通す 1. 人生を展望する 2. 目標を持って生きる	2	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。		○	○	○	
		第2章 人生をつくる 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 3. これからの家庭生活と社会	3		・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	○	○	○
	第3章 子どもと共に育つ 1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもと関わる 4. 子どもとのふれあいから学ぶ 5. これからの保育環境		6	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・ワークシート ・期末テスト  【妊婦疑似体験】 【伝統的な玩具・折り紙・絵本】 【視聴覚教材】 【パワーポイント】	○	○	○
			第4章 超高齢社会を共に生きる 1. 超高齢・大衆長寿社会の到来 2. 高齢者の心身の特徴 3. これからの超高齢社会	4	・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 ・超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・ワークシート ・期末テスト  【高齢者疑似体験】 【視聴覚教材】 【パワーポイント】	○	○
		第5章 共に生き、共に支える 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる		3	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 ・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・ワークシート ・期末テスト	○	○
	【調理実習①】和風献立 親子丼、豆苗の和え物、わかめと豆腐のすまし汁		3	・親子丼の作り方を学ぶ。 ・青菜のゆで方、和え物の作り方を学ぶ。 ・だしのとり方と一番だし・二番だしの使い方を学ぶ。	【パワーポイント】 ・授業態度 ・実習記録	○	○	○
	巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	2	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	【視聴覚教材】	○	○	○	
	ホームプロジェクトの発表	2	・ホームプロジェクトの発表を通して反省・評価を行い次の課題解決へとつなげる。	・発表態度 ・レポート				
		第9章 衣生活をつくる 1. 被服の役割を考える 2. 被服を入手する	6	・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている	・授業態度 ・発問評価 ・学習ノート ・ワークシート ・期末テスト	○	○	○
					○	○		

3	3. 被服を管理する	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫について理解する。</li> <li>被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。</li> </ul>	<b>【視聴覚教材】</b> <b>【パワーポイント】</b>				
	【実験】 界面活性剤の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。</li> <li>環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【実験セット】</li> <li>・洗濯用合成洗剤</li> <li>・ごま油</li> <li>・カーボンブラック</li> <li>・布（毛・綿）</li> <li>・ピーカー</li> </ul>	○	○		
	4. 衣生活の文化と知恵	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・学習ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・期末テスト</li> </ul>	○	○		
	5. これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。</li> <li>全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【パワーポイント】</li> <li>・【視聴覚教材】</li> <li>・【裁縫セット】</li> <li>・【ミシン】</li> </ul>	○	○		
	【被服製作実習】 トートバッグ	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンの使い方、手縫いの基本を学ぶ。</li> </ul>		○	○	
	第6章 食生活をつくる	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</li> <li>・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。</li> <li>・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</li> <li>・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。</li> <li>・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。</li> <li>・配膳やマナーに関心を持つ。</li> <li>・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。</li> <li>・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。</li> <li>・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テスト</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・学習ノート</li> <li>・【視聴覚教材】</li> </ul>	○		
	1. 食生活の課題について考える				○		
	2. 食事の栄養・食品				○	○	
	3. 食生活の選択と安全				○	○	
	4. 生涯の健康を見通した食事計画				○		○
5. 調理の基礎				○			
6. 食生活の文化と知恵					○		
7. これからの食生活					○		
【調理実習②】中華献立 麻婆豆腐、粟米湯、奶豆腐	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆腐の炒め煮の作り方</li> <li>・とろみのあるスープの作り方</li> <li>・寒天の扱い方、片栗粉の扱い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【パワーポイント】</li> <li>・授業態度</li> <li>・実習記録</li> </ul>	○	○	○	
第8章 住生活をつくる	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。</li> <li>・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。</li> <li>・日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。</li> <li>・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・学習ノート</li> <li>・実習レポート</li> <li>・【視聴覚教材】</li> </ul>	○	○		
1. 住生活の変遷と住居の機能				○		○	
2. 安全で快適な住生活の計画				○			
3. 住生活の文化と知恵					○		
4. これからの住生活					○		
【調理実習③】洋風献立 グラタン、コンソメジュリアン、サラダ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトソースの作り方</li> <li>・マカロニの茹で方</li> <li>・ドレッシングの作り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・実習記録</li> </ul>	○	○	○	
第9章 経済生活を営む	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。</li> <li>・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。</li> <li>・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テスト</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・学習ノート</li> </ul>	○	○		
1. 情報収集・比較と意思決定				○		○	
2. 購入・支払いのルールと方法				○			

3. 消費者の権利と責任  4. 生涯の経済生活を見通す  5. これからの経済生活  【調理実習④】 子どものおやつ マドレーヌ  第10章 持続可能な生活を営む  第11章 これからの生活を創造する		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者には権利と責任があることを理解する。</li> <li>・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。</li> <li>・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて、どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。</li> </ul>		○	○	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。</li> </ul>		○	○	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。</li> <li>・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。</li> </ul>		○	○	
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卵の性質（起泡性、凝固性）を利用したお菓子の作り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・実習記録</li> </ul>	○	○	○
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。</li> <li>・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テスト</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート提出</li> </ul>	○	○	○
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。</li> <li>・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テスト</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・学習ノート</li> </ul>	○	○	○
年間授業時数	70					

## 6 年間計画 ②

学期	学習内容		指導目標・指導上の留意点 評価の観点	評価方法 【使用機器等】	知	思	態
1	オリエンテーション 家庭科の学び方 第1章 生涯を見通す 3. 人生を展望する 4. 目標を持って生きる	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の意義や進度、評価の方法を理解させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・学習ノート</li> </ul>	○	○	○
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。</li> </ul>		○	○	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。</li> </ul>		○	○	
	第9章 衣生活をつくる 1. 被服の役割を考える  2. 被服を入手する	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。</li> <li>・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえで被服の役割を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・学習ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・期末テスト</li> </ul>	○	○	○
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。</li> <li>・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【視聴覚教材】</li> <li>【パワーポイント】</li> <li>【実験セット】</li> <li>洗濯用合成洗剤</li> <li>ごま油</li> </ul>	○	
	3. 被服を管理する  【実験】 界面活性剤の働き		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。</li> <li>・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンブラック</li> <li>・布（毛・綿）</li> <li>・ピーカー</li> </ul>	○	○	○
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・学習ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・期末テスト</li> </ul>	○	
	4. 衣生活の文化と知恵  5. これからの衣生活  【被服製作実習】 トートバッグ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。</li> <li>・全ての人々が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫セット】</li> <li>【ミシン】</li> </ul>	○	○	○
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンの使い方、手縫いの基本を学ぶ。</li> </ul>	○		○		

<p>第2章 人生をつくる</p> <p>1. 人生をつくる</p> <p>2. 家族・家庭を見つめる</p> <p>3. これからの家庭生活と社会</p> <p>巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークシート</li> <li>学習ノート</li> </ul>	○		○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。</li> <li>社会制度としての家族や家族と法律を理解する。</li> <li>誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結び付きについて理解する。</li> <li>誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。</li> </ul>		○	○	
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</li> <li>自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。</li> </ul>	【視聴覚教材】	○	○	○
<p>ホームプロジェクトの発表</p> <p>【調理実習①】和風献立 親子丼、豆苗の和え物、わかめと豆腐のすまし汁</p> <p>第3章 子どもと共に育つ</p> <p>1. 命を育む</p> <p>2. 子どもの育つ力を知る</p> <p>3. 子どもと関わる</p> <p>4. 子どもとのふれあいから学ぶ</p> <p>5. これからの保育環境</p> <p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>1. 超高齢・大衆長寿社会の到来</p> <p>2. 高齢者の心身の特徴</p> <p>3. これからの超高齢社会</p> <p>第5章 共に生き、共に支える</p> <p>1. 私たちの生活と福祉</p> <p>2. 社会保障の考え方</p> <p>3. 共に生きる</p> <p>第6章 食生活をつくる</p> <p>1. 食生活の課題について考える</p> <p>2. 食事の栄養・食品</p> <p>3. 食生活の選択と安全</p> <p>4. 生涯の健康を見通した食事計画</p> <p>5. 調理の基礎</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクトの発表を通して反省・評価を行い次の課題解決へとつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表態度</li> <li>レポート</li> </ul>			
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子丼の作り方を学ぶ。</li> <li>青菜のゆで方、和え物の作り方を学ぶ。</li> <li>だしのとり方と一番だし・二番だしの使い方を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【パワーポイント】</li> <li>授業態度</li> <li>実習記録</li> </ul>	○	○	○
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>学習ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>期末テスト</li> </ul>	○		○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。</li> </ul>		○		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。</li> </ul>		○	○	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【妊婦疑似体験】</li> <li>【伝統的な玩具・折り紙・絵本】</li> <li>【視聴覚教材】</li> <li>【パワーポイント】</li> </ul>	○		○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。</li> </ul>		○	○	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。</li> </ul>		○	○	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>超高齢社会の背景を理解する。</li> <li>高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>学習ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>期末テスト</li> </ul>	○		○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。</li> <li>高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。</li> </ul>		○		
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。</li> <li>超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。</li> </ul>		○		○		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>学習ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>期末テスト</li> </ul>	○		○	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。</li> </ul>		○			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。</li> </ul>			○		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期末テスト</li> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークシート</li> <li>学習ノート</li> <li>【視聴覚教材】</li> </ul>	○		○	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。</li> </ul>		○	○		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</li> </ul>		○	○		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものを理解する。</li> </ul>		○			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉</li> </ul>		○			

6. 食生活の文化と知恵		える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。					
	7. これからの食生活	・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。				○	
【調理実習②】中華献立 麻婆豆腐、粟米湯、奶豆腐	2	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。 ・豆腐の炒め煮の作り方 ・とろみのあるスープの作り方 ・寒天の扱い方、片栗粉の扱い方	【パワーポイント】 ・授業態度 ・実習記録	○	○	○	
	4	・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 ・日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・学習ノート ・実習レポート 【視聴覚教材】	○	○	○	
3	第8章 住生活をつくる						
	1. 住生活の変遷と住居の機能						
	2. 安全で快適な住生活の計画					○	
	3. 住生活の文化と知恵					○	
	4. これからの住生活					○	
	【調理実習③】洋風献立 グラタン、コンソメジュリアン、サラダ	2	・ホワイトソースの作り方 ・マカロニの茹で方 ・ドレッシングの作り方	・授業態度 ・実習記録	○	○	○
	第9章 経済生活を営む						
	1. 情報収集・比較と意思決定	6	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。	・期末テスト ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・学習ノート	○	○	
	2. 購入・支払いのルールと方法					○	
	3. 消費者の権利と責任		・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて、どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。			○	○
4. 生涯の経済生活を見通す		・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。			○	○	
5. これからの経済生活		・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。			○	○	
【調理実習④】 子どものおやつ マドレーヌ	2	・卵の性質（起泡性、凝固性）を利用したお菓子の作り方	・授業態度 ・実習記録	○	○	○	
第10章 持続可能な生活を営む	2	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。	・期末テスト ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・学習ノート	○	○	○	
第11章 これからの生活を創造する	2	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする。	・期末テスト ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・学習ノート	○	○	○	
年間授業時数	70						

## 令和5年度 3年「家庭総合」シラバス

### 1 科目・単位・履修学年・区分

教科	科目	単位	履修学年	区分
家庭科	家庭総合	1単位	3学年	必修（文型、理型）

### 2 使用教科書・副教材

- ・教科書：「家庭総合 ともに生きる・未来をつくる」（第一学習社）
- ・副教材：「最新 生活ハンドブック 2022 資料集&成分表」（第一学習社）

### 3 科目「家庭総合」の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけさせる。また、生活の中から問題を見出し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### 4 授業形態・方法

通常の講義形式と、グループ単位での実験・実習、疑似体験、シミュレーション学習などを通して体験的に学習を深めます。座学、実習内容によって教室の移動がある場合もあります。いずれの場合も教科書及び資料集を用います。

### 5 成績評価の方法

成績評価は定期考査の成績、提出物（プリント、ノート、ファイル、実習の記録、課題）、授業態度などをみて総合的に判断します。

1学期	期末考査：60%、提出物：30%、態度：10%
2学期	期末考査：60%、提出物：30%、態度：10%
3学期	学年末考査：なし、提出物：90%、態度：10%
学年末	（1学期の評定＋2学期の評定＋3学期の評定）／3

### 6 評価の観点（評価の観点及び評価方法）

	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
評価の観点	・食生活、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むことができるとともに、実践的な態度を身に付けようとする。	・食生活、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深めることができる。 ・課題解決に向けて適切に判断し、自分なりに工夫しまとめることができる。	・食生活の科学と文化、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉などに関する技術を総合的に身に付ける。	・食生活、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉などに関する知識を総合的に身に付けることができる。
評価方法	・授業、実習への参加の仕方や態度 ・課題 ・ワークシート	・定期考査の論述問題 ・実習レポートやプリントの考察 ・発表の内容	・実習の実技 ・実習レポート ・課題	・定期考査 ・実習記録の考察

## 7 年間計画

月	学習内容	指導目標・指導上の留意点 評価の観点	時数	進度	評価方法 【使用機器等】
4	オリエンテーション 2章 次世代をはぐくむ 第1節 子どもの発達と生活 ①命をはぐくむ  ②胎児は母体とともに  2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達 ③子どもの体の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の意義や進度、評価の方法を理解させる</li> <li>・次世代の子どもたちをすこやかに育てることの責任を自覚する。</li> <li>・妊娠前から男女ともに心身の健康管理につとめることの重要性を学ぶ。</li> <li>・妊娠から子どもの誕生までの母体の健康管理、胎児の発育と母体の変化を学ぶ。</li> <li>・胎児の環境としての母体について理解し、母体の健康管理の重要性と生命の尊さへの認識を深める。</li> <li>・乳幼児期は一生を通じての人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であることを理解する。</li> <li>・子どもの発育・発達には個人差があるが、一定の順序と共通性があることを認識する。</li> <li>・新生児、乳児、幼児それぞれの時期の特徴について理解する。</li> <li>・からだの発達同様、情緒や言語の発達についても個人差が大きいことを知る。</li> </ul>	1  1  1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> <li>・期末テスト</li> <li>【パワーポイント】</li> <li>【折り紙】</li> <li>【折り紙教本】</li> <li>【伝統的な遊具】</li> <li>【視聴覚教材】</li> <li>【絵本・紙芝居】</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・【胎児模型】</li> <li>【妊婦疑似体験キット】</li> </ul>
5	④子どもの心の発達  ⑤子どもと遊び  ⑥子どもとのふれ合い 2節 親の役割 ①親と子の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の発達とともにさまざまな欲求があらわれること、子どもが欲求不満におちいった場合には親の適切な対応が重要であることに気づく。</li> <li>・遊びは子どもの生活の大部分をしめており、遊びをとおして子どもの心身の発達や健康の保持・増進がなされていることを理解する。</li> <li>・乳幼児の発達の面から遊びの意義や児童文化財について考える。</li> <li>・自分の幼児期について振り返り、保育者や幼稚園での実体験をもとに幼児期が、心身の発達の面で大切な次期であることを理解する。</li> <li>・乳幼児期は、人間形成の基礎となる重要な時期であり、特に親とのかかわりによる「愛着」の形成は、その後の信頼関係づくりのうえで重要であることを理解する。</li> <li>・保育の第一義的な責任は親にあることを認識するとともに、子どもの人間形成にかかわる親の役割について理解する。</li> <li>・沐浴実習を通して、新生児の扱い方、沐浴をさせる意味などを理解する。</li> </ul>	1  1  1		【沐浴実習】
6	②乳幼児期の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしのなかでの基本的な生活習慣の形成、社会性の習得について理解する。</li> <li>・乳幼児の食生活・衣生活・住生活について理解を深める。</li> <li>・家庭で起こりうる事故について知り、未然防止の大切さについて考えを深める。</li> <li>・乳幼児の健康の保持増進をはかるための健康診断、育児相談、予防接種などの概要を把握し、その重要性について理解を深める。</li> </ul>	1  3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> <li>・期末テスト</li> <li>【パワーポイント】</li> <li>【視聴覚教材】</li> </ul>
7	幼児の手作りおやつ 調理実習「マドレーヌ」  3節 子育て支援と福祉 ①子育て支援と地域社会のかかわり  ②子どもの権利と福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭にある材料で、簡単に手作りできるおやつを作る。 「小麦粉、卵、バター」 ※小麦粉と卵はアレルギー特定原材料なので、アレルギーの有無や代替食品での対応も学習する。</li> <li>・少子社会のもとでの子育て支援について考え、よりよい保育環境を保障するために、地域や社会が果たす役割について考える。</li> <li>・家庭保育との比較のなかで、集団保育の意義や、現代社会における保育のあり方、特徴を理解する。</li> <li>・子どもの権利条約にもとづいて、子どもの権利や福祉についての理解をはかる。</li> <li>・国際社会に生きるものとして、男女差別や人種差別のない社会をめざし、ともに生きることの大切さを考える。</li> </ul>	1  1  1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の記録</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> <li>【パワーポイント】</li> <li>【視聴覚教材】</li> </ul>



9	6章 食べる 1節 人の一生と食事 ①私たちと食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高める。</li> <li>・食物の役割を認識し、食が心身を育むうえでも大切なものであることを理解する。</li> <li>・人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【パワーポイント】 【視聴覚教材】</p>
	②食べることと健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の食生活の実情を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。</li> <li>・栄養摂取のアンバランスや不規則な食生活によって、生活習慣病や心身の不調がもたらされることを知る。</li> </ul>	1	
	③食生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFC比率に注目し、日本は脂質のとりすぎの傾向にあることを理解する。</li> <li>・家族や仲間と一緒に食べることのメリットを理解し、食事を大切にすることができる。</li> <li>・食生活にかかわる情報を適切に判断することができる。</li> </ul>	1	
	④食生活の文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の風土から生まれた日本食の基本「一汁三菜」を理解し、日本の食文化を知る。</li> <li>・昔から伝えられてきた和風から多くの変遷を経て、現在の食文化が創り上げられていることを理解する。</li> </ul>	1	
	2節 栄養と食品 ①人体と栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活を送るうえで、必要な栄養素とそのおもな働きについて理解する。</li> <li>・食品中の成分をどのように分解し、人体の成分として利用しているか、その過程を学ぶ。</li> </ul>	1	
	②栄養素の種類と性質 (炭水化物)  (脂質)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー源としての糖質、腸内環境を保つ食物繊維について学ぶ</li> <li>・食物繊維を含む食品の重要性について学び、必要量の摂取について考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【パワーポイント】 【視聴覚教材】</p>
10	(たんぱく質)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー源、また体構成物質として働く脂質の役割について学ぶ。</li> <li>・脂肪酸の種類とそれを多く含む食品を知り、健康的な摂取を質と量の両面から学ぶ。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> <li>・期末テスト</li> </ul> <p>【パワーポイント】 【視聴覚教材】</p>
	(無機質・ビタミン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・からだの組織をつくるたんぱく質とそれを多く含む食品について学び、他の食品との組み合わせによるたんぱく質の補足効果を理解し、アミノ酸価についても学習する。</li> <li>・無機質・ビタミンの種類と働き、それらを多く含む食品について学ぶ。特に、カルシウムと骨形成、鉄と貧血の関係等を理解する。</li> </ul>	1	
	③加工食品と健康増進のための食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理加工品や調味料・香辛料などの種類と働きについて基本を理解する。</li> <li>・健康贈品のための食品について基本的な理解をはかるとともに、サプリメントの効果や扱い方についても考える。</li> </ul>	1	
	3節 食生活の安全のために ①食生活の安全と衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒にはどのような種類があるのかを知り、細菌汚染を防ぐため、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項について学ぶ</li> <li>・食品添加物の用途を理解するとともに、食品に含まれている食品添加物の名称・使用目的などを調べ、購入に際しての選択法を見につける。</li> </ul>	1	
	②食品の選択と保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各食品の保存法について取り上げ、理解する。</li> <li>・消費期限・賞味期限をもとに食品を正しく選ぶ力を養う。</li> <li>・食品表示、栄養表示をとおして内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できるようにする。</li> </ul>	1	
	食品実験「着色料の検出」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工食品には着色料が使用されているものがあることを知り、それが天然色素なのか合成色素なのかを調べ、それぞれの特徴を確認し、食品の着色料について考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の記録</li> </ul>



## 令和5年度 3年「フードデザイン」シラバス

### 1 科目・単位・履修学年・区分

教科	科目	単位	履修学年	区分
家庭科	フードデザイン	3単位	3学年	選択（文型）

### 2 使用教科書・副教材

- ・教科書：「フードデザイン」（教育図書）
- ・副教材：「最新 生活ハンドブック 2022 資料集&成分表」（第一学習社）

### 3 科目「フードデザイン」の目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

### 4 授業形態・方法

通常の講義形式と、グループ単位での実験・実習、疑似体験、シミュレーション学習などを通して体験的に学習を深めます。座学、実習内容によって教室の移動がある場合もあります。いずれの場合も教科書及び資料集を用います。

### 5 成績評価の方法

成績評価は定期考査の成績、提出物（プリント、ファイル、実習の記録、課題）、授業態度などをみて総合的に判断します。

1学期	期末考査：60%、提出物：30%、実習・実験・態度：10%
2学期	期末考査：60%、提出物：30%、実習・実験・態度：10%
3学期	学年末考査なし、提出物：90%、実習・実験・態度：10%
学年末	（1学期の評定＋2学期の評定＋3学期の評定）／3

### 6 評価の観点（評価の観点及び評価方法）

	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
評価の観点	食生活に関する諸問題に関心をもち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。	食生活を総合的に捉えて計画・実践するための課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。
評価方法	・授業、実習への参加の仕方や態度 ・課題 ・ワークシート	・定期考査の論述問題 ・実習レポートやプリントの考察 ・発表の内容	・実習の実技 ・実習レポート ・課題	・定期考査 ・実習記録の考察

## 7 年間計画

月	学習内容	指導目標・指導上の留意点評価の観点	時数	進度	評価方法 【使用機器等】
4	オリエンテーション	・学習の意義や進度、評価の方法を理解させる。	1		・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	第1章健康と食生活 1. 食事の意義と役割	・食えることは生きるための意味合いだけでなく、さまざまな意味があることを理解し、食事と団らんの重要性を知る。	2		
	2. 食を取り巻く現状	・私たちの栄養の摂取状況について知る。 ・食の外部化や食料自給率の低下などの諸問題について正しい知識を見につけ、自分なりの考えを確立する。	6		
5	第2章栄養素・食品の特徴 1. 栄養素のはたらき	・食物摂取の必要性や、健康を維持するために必要な栄養摂取量、ライフステージごとの栄養摂取の特徴を理解する。	2		・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	2. 健康に必要な栄養素	・各栄養素の種類と栄養的な意義、それらの栄養素を含む食品について知り、各栄養素の代謝経路と役割を理解する。 ・各栄養素の必要性を理解し、バランスよく摂取する重要性を理解する。	10		
6  7	3. 消化・吸収の仕組み	・食品に含まれる栄養成分が、体内で消化、吸収される過程を理解する	2		・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・期末テスト ・ファイル提出
	4. 食品の特徴	・さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解する。 ・それぞれの食品と、栄養素を関連づけて学習し、日常の食事から効果的に栄養素を摂取できるようにする。 ・健康食品やインスタント食品などの食品について正しい知識を身につける。	10		
	5. 食品の加工	・身の回りにある加工食品を知り、加工の方法や目的を理解する。			
	6. 食品の選択と取り扱い	・食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができるようになる。 ・食中毒の危険性について知り、正しい予防ができるようになる。	8		
9	第3章調理と献立 1. 調理の基本	・調理は食品を食事の目的に合うようにつくりかえることを理解する。 ・調理器具や調理の方法を知ること、実際の調理をする前の下地作りをする。	5		・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	2. ライフステージと食事計画	・年齢や性別、運動量などによって、必要とされる栄養素に違いがあることを知り、ライフステージごとの特徴を理解する。	4		
10	3. 献立作成	・献立を作成するための留意点を理解し、のぞましい献立作成ができる能力を身につける。	2		・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	4. 様式別の献立と調理・食卓作法	・各様式別料理の特徴を理解する。 ・各様式の献立構成、食卓構成、作法を理解する。 ・各様式に適した献立作成や供応に伴うマナーを身につける。	4		
	5. 食文化を見つめる	・食は生活と密着したものであり、地域やライフスタイルに合わせて多様な文化を作り上げてきたことを知る。	2		
	6. テーブルコーディネート	・テーブルコーディネートの基本をふまえ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や環境作りの技術を身につける。 ・各料理のサービスの特徴を理解する。	4		
11 12 1	第4章調理実習 ○日常食 和風・洋風・中国料理献立 ○日常食・その他 ○調理法を工夫したエコクッキング ○行事食	・日本料理、西洋料理、中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。 ・作成した献立に適した食品を選択し、食品の調理性をふまえた適切な調理ができるようにする。 ・食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができるようにする。 ・主な調理操作を習得することにより、能率良くおいしく作るができるようにする。 ・各料理に合った盛り付けや、目的に合った食卓を整えることができる。	25		・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
2	第5章豊かな食生活をつくる 1. 国民運動としての食育の推進	・現代の食生活を見直すために、食育の大切さを理解する。 ・地域ごとの食育の取り組みについて学ぶ。	3		
年間指導時間			90		